

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月8日

吹田市長 様

提出者

住所 大阪府吹田市高野台4丁目3番1-107号

氏名 アオバ建設工業株式会社 代表取締役 奥谷 栄次

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-4863-5555

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	アオバ建設工業株式会社 吹田市管轄内事業場
事業場の所在地	吹田市管轄区域内
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項 別紙1, 2のとおり	
①事業の種類	
②事業の規模	
③従業員数	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

別紙1, 2のとおり

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		別紙 1, 2 のとおり	
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		別紙 1, 2 のとおり	
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		別紙 1, 2 のとおり	
①現状	【前年度 (年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		別紙 1, 2 のとおり	
①現状	【前年度 (年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】	別紙 1, 2 のとおり	
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現況：前年度(令和6年度)実績量

計画：今年度(令和7年度)計画量

単位:トン/年

コード	産業廃棄物の種類 名 称	排出抑制に関する事項		自らの再生利用に関する事項		自らの中間処理に関する事項		自らの埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項				認定回収業者 以外の回収取 行方業者への処 理委託量 (前年度実績値の⑭)	
		排出量 (前年度実績値の①)	計画	自らの再生利用を 行う 産業廃棄物の 量 (前年度実績値 の②+③)	自らの中間処理を行 う 産業廃棄物の 量 (前年度実績値 の⑤)	自らの中間処理に より遠送する産 業廃棄物の量 (前年度実績値 の⑦)	自らの埋立処分又は海洋 投入処分を行う産業廃 棄物の量 (前年度実績値の③+⑥)	全処理委託量 (前年度実績値の⑩)	使用認定処理業者への 処理委託量 (前年度実績値の⑪)	再生利用業者への 処理委託量 (前年度実績値の⑫)	認定回収業者 への 処理委託量 (前年度実績値 の⑬)	現況	計画	現況	計画
100	燃え殻														
200	汚泥														
300	廃油														
400	廃酸														
500	廃アルカリ														
600	廃プラスチック	1,050	1,050	0.000	0.000	0.000	0.000	1,050	1,050	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
700	紙くず														
800	木くず	99,430	99,430	0.000	0.000	0.000	0.000	99,430	0.000	99,430	99,430	0.000	0.000	0.000	0.000
900	繊維くず														
1000	動植物性残渣														
1100	ゴムくず														
1200	金属くず														
1300	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁 器くず														
1400	鉱さい														
1500	がれき類	137,850	137,850	0.000	0.000	0.000	0.000	137,850	0.000	137,850	137,850	0.000	0.000	0.000	0.000
1600	動物の糞尿														
1700	動物の死体														
1800	ばいじん														
1501	コンクリート塊	5970,530	5970,530	0.000	0.000	0.000	0.000	5970,530	1470,000	3648,990	4151,000	0.000	0.000	0.000	0.000
1502	アスファルト・コンクリート	853,260	1030,000	0.000	0.000	0.000	0.000	853,260	322,000	853,260	1030,000	0.000	0.000	0.000	0.000
2020	管理型建設混合廃棄物	4,680	4,160	0.000	0.000	0.000	0.000	4,680	4,160	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
2520	照明機器	0.040	0.040	0.000	0.000	0.000	0.000	0.040	0.040	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
2440	建設混合廃棄物(石綿含有産業廃棄物)	19,240	3,360	0.000	0.000	0.000	0.000	19,240	3,360	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
合計		7086,180	6596,910	0.000	0.000	0.000	0.000	7086,180	6886,910	4739,530	5418,280	0.000	0.000	0.000	0.000

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合に限り、空欄へ産業廃棄物のコード及び具体的な名称を記入してください。

※数量に関しては、小数点以下3桁表示として記入してください。

別紙2（廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書）

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	完成工事高 39,548万円（前年度実績）
③従業員数	8名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙 ①産業廃棄物の一連の処理の工程のとおり

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項（管理体制図等、別紙を参照）

別紙 ②管理体制図及び各部署の役割のとおり

3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組） 公共機関からの受注が主である為、産業廃棄物排出量の抑制が難しい。
②計画	（今後実施する予定の取組） 混合廃棄物をできるだけ分別し、再資源化を推進する。

4 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） がれき類（コンクリート塊・アスファルト塊）の分別及び木くず、廃プラスチック類が他の廃棄物と混合することのない分別を行う。 石綿含有産業廃棄物についても他の廃棄物に付着・混入することないように分別解体を徹底する。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状の取組を継続していく。

5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 特になし
②計画	(今後実施する予定の取組) 特になし

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 特になし
②計画	(今後実施する予定の取組) 特になし

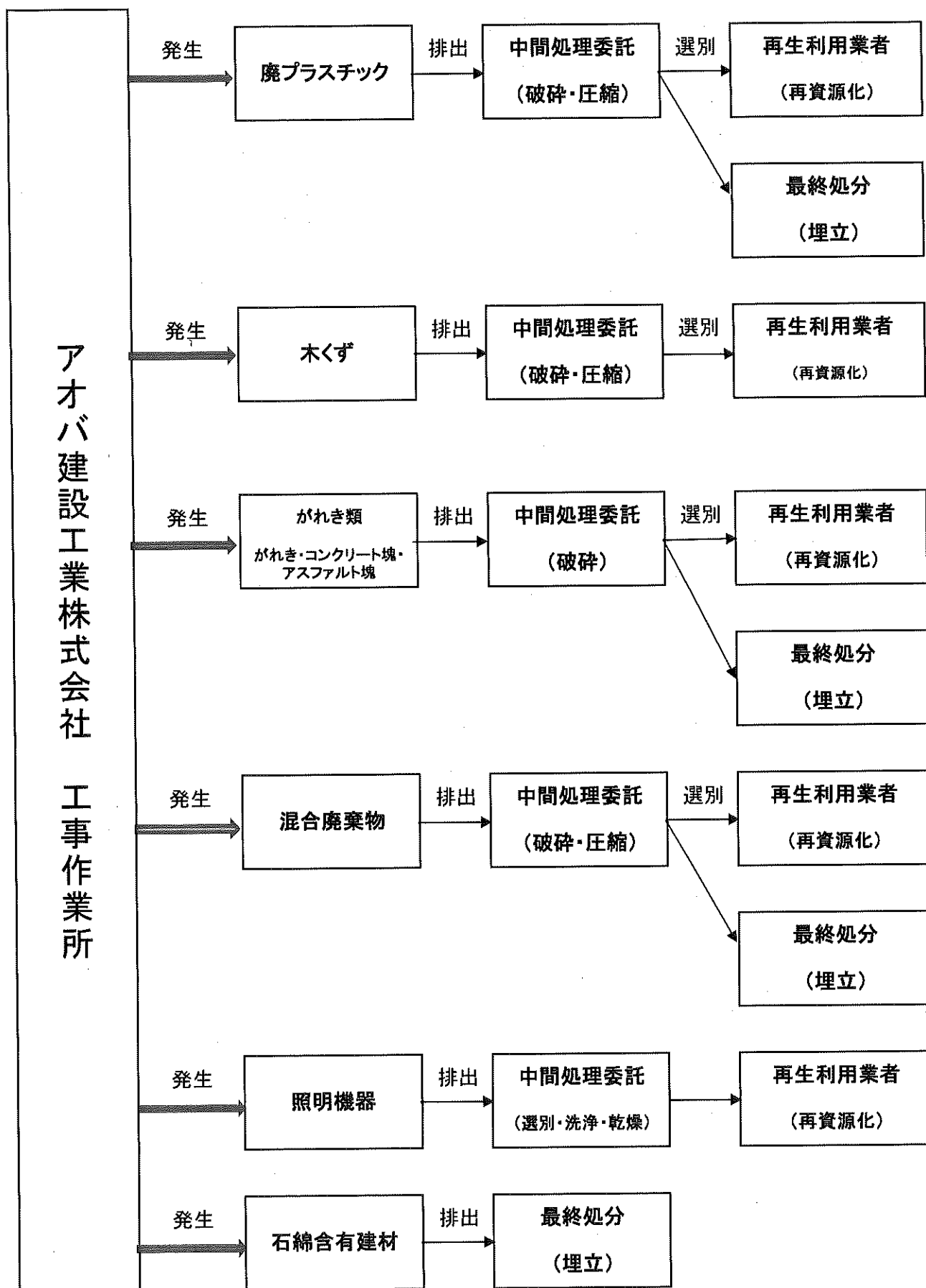
7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 特になし
②計画	(今後実施する予定の取組) 特になし

8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 処理委託業者との書面による適正な委託契約の締結。 処理委託業者の 電子マニフェスト導入の有無を確認し、 電子マニフェストを積極的に活用する。
②計画	(今後実施する予定の取組) 可能な限り優良認定処理業者、再生利用業者、熱回収業者へ委託処理する。 電子マニフェスト対応可能な処理業者から選定する。

別紙① 産業廃棄物の一連の処理の工程



別紙② 管理体制図及び各部署の役割

管理体制図

統括責任者		職名	代表取締役
廃棄物担当		組織名	工事部
		職名	各現場代理人
		組織人数	8名
役割	廃棄物処理統括責任者	①廃棄物処理に関する各種事項の決定・承認	
	工事部(各現場代理人)	①収集運搬・処理業者の選定 ②マニフェストの管理 ③協力業者への教育 ④その他関係する事項	
	総務部	①マニフェストの交付・管理・保管 ②行政への各種報告 ③委託契約の締結	

廃棄物管理組織

代表取締役
(廃棄物処理統括責任者)

総務部

工事部

廃棄物処理担当者(各現場代理人)